

9月14日：利益確定売りが続き、VN指数は続落

投資家の利益確定売りが続き、マーケットはさえない動きだった。

ホーチミン市場のVN指数は午前中に少し上昇したが、その後は弱い動きとなった。

終値は0.13%（1.73ポイント）安の1,339.7ポイントだった。

値下がり銘柄数が値上がり銘柄数を上回り、出来高は前日に比べ大きく減少した。

売買高は7億3,040万株超で、売買代金は前日比で15%ほど減少し、約19兆7,000億ドン（8億6,710万米ドル）となった。

VN30指数は0.47%（6.83ポイント）安の1,438.16ポイントで取引を終えた。

同指数採用銘柄のうち、18銘柄が下落、7銘柄が上昇、5銘柄は変わらずだった。

この日は売り優勢となった。

vietstock.vnによって集計されたデータによれば、利益確定売りの動きは銀行株でよく見られた。

その中でもヴィエティンバンク（CTG）は2.04%安と最も下げた。VPバンク（VPB）-1.39%、ベトナム投資開発銀行（BID）-1.15%、軍隊商業銀行（MBB）-1.08%と他の大手銀行株も売られた。

ホアファットグループ（HPG）、ベトジェットエア（VJC）といった大型株もさえない動きとなった。

しかし一部の大型株は買われ、マーケットを支えた。

マサングループ（MSN）は3.75%高の135,500ポイントと、VN30指数組入銘柄の中で上昇率トップとなった。他にもサイゴンビールアルコール飲料（SAB）、ベトナムゴム工業グループ（GVR）、ベトナム航空（HVN）、FPTグループ（FPT）、ビンコムリテール（VRE）は堅調な動きとなった。

テクニカル面では「VN指数はもみ合っており、今後新たな局面に入るため突破口が必要となるだろう」（サイゴンハノイ証券のアナリスト）

「大型株を保有している投資家は株価が回復したところで、大型株の保有比率を下げるのがよい。その一方でキャッシュポジションを多く取っている投資家は、現時点で急いで買うのは避け、マーケットを観察し、買いのタイミングを見計らうのが良い」（同証券会社）

ハノイ市場の HNX 指数も 0.34%（1.19 ポイント）安の 347.86 ポイントで引けた。売買高は 1 億 7,090 万株を超え、売買代金は約 3 兆 3,000 億ドンだった。

その一方、外国人投資家は引き続き両市場（ホーチミン、ハノイ市場）で合わせて 5,517 億 7,000 万ドンで売り越した。そのうち、ホーチミン市場で 7,384 億 1,000 万ドンで売り越し、ハノイ市場では 1,556 億 3,000 万ドンを買い越した。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。